

先輩からのメッセージ



北区北神支所保健福祉課
こども家庭支援担当課長
宮本 昌典

神戸市の「福祉職」としての業務は、フィールド「児童・高齢・障害他」、プレイス「本庁・区役所・センター」、ポジション「担当・管理職」の3軸で構成され、多種多様且つ多角的な仕事上の経験ができます。（私は、今 児童一区役所一管理職）
また、激熱な人やCOOLな人、味のあるベテラン、ひよっ子初心者マーク、いろんな個性の集まりです。きっと仕事を通して、出会いを通して、ほんとドキドキ、ワクワクです。一緒に働くことを楽しみに待っています。是非！

先輩からのメッセージ



厚生労働省 老健局
介護保険計画課 企画法令係
中島 由紀子

私は現在、厚生労働省老健局介護保険計画課に出向していますが、これまで福祉事務所や本庁に配属され、様々な立場から福祉行政に携わってきました。幅広い分野に活躍の場が広がっているのは、神戸市福祉職の大きな魅力のひとつだと思います。是非、神戸市福祉職員として生きる未来を思い描いてみてください。

福祉職に関するデータ（令和2年度）

職員数	男性101名 女性228名 計329名
配属先	本庁（市役所） 保護課、高齢福祉課、介護保険課、障害者支援課、家庭支援課
区役所	健康福祉課、こども家庭支援課、生活支援課
センター	こども家庭センター、療育センター、障害者福祉センター、発達障害者支援センター、更生センター

福祉職元気アップ委員会

- 福祉職新規時職員研修
 - 福祉職採用1年次研修
 - 福祉職採用3年次研修
 - 福祉職採用中堅研修
 - 福祉職時間外研修（児童福祉、地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、公的扶助などのテーマ研修）
- ★交流会や自主的勉強会も開かれており、世代にとらわれず福祉職間のつながりを大切にしています。

資格や経験を問わず、神戸の福祉向上の為に、共に熱意を持って働いていただける方をお待ちしています。



新規採用職員研修

採用状況		受験者数	合格者数	倍率
R2年度	特別枠	38	5	7.6
	一般枠	20	3	6.7
R元年度	特別枠	56	6	9.3
	一般枠	25	7	3.6
H30年度	特別枠	15	3	3.8
	一般枠	39	11	3.5
H29年度	特別枠	16	3	5.3
	一般枠	32	10	3.2
H28年度	特別枠	26	3	8.7
	一般枠	55	11	5.0

※この他、平成27年度より社会人採用試験も実施

お問い合わせ

神戸市総合コールセンター ☎ (078) 333-3330

神戸市職員採用 🔍



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

令和3年2月発行 神戸市人事委員会

キラリ★福祉 in KOBE

神戸市福祉職員募集採用パンフレット

あなたにしかできない
福祉が神戸にある



背景：神戸市垂水区孫文記念館と明石海峡大橋

神戸市福祉職で働こう

- 神戸市では、すべての市民が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らせるように、世代を問わず誰にとっても暮らしやすいまちづくりに取り組んでいます。福祉職は、神戸の福祉環境を創造し、市民のニーズに対応した切れ目のない支援を実現する担い手の中心となる職種です。
- 福祉施策の企画立案をはじめ、各区保健福祉部における生活保護の決定や実施、児童・高齢者・障がい者福祉に関する相談業務を行います。また、障がい児施設における支援業務、こども家庭センターや療育センター、障害者福祉センター、精神保健福祉センター、発達障害者支援センターにおける相談などの業務も行います。
- 配属先から見てわかるように、神戸市の福祉職は様々な福祉分野の業務に携わることができ、福祉のジェネラリストとしてソーシャルワークが実践できることが大きな強みです。

- また、あらゆる分野の施策を総合的かつ重層的に推し進めるためには他職種との協働は欠かせません。様々な職場で、チームの一員として福祉職の専門性を発揮しています。



福祉事務所

兵庫区保健福祉部生活支援課
西部保護係担当

高杉 亮 (平成25年度採用)



- <ある日のスケジュール>
- 8:30 出勤
 - 8:45 業務開始 担当世帯の相談対応
生活保護費支給に関する事務処理等
 - 12:00 昼食
 - 13:00 担当世帯の家に訪問
 - 16:00 帰庁 訪問記事作成
 - 17:30 窓口業務終了 記録整理
 - 18:00 退庁

仕事内容

神戸市内には9ヶ所・1支所の福祉事務所が設置されています。生活支援課では生活保護制度を運用し、生活保護を必要とする方に対し、必要な支援を行っています。ケースワーカーとして私たちは、定期的な訪問調査や就労支援などの対人援助業務や保護費支給事務や記録作成などの業務を日々行っています。

仕事のやりがい

生活保護の対象者は児童・成人・高齢者と様々です。様々な悩みや不安を抱える対象者の話を聞き、必要な支援していきます。関係機関と連携を図りながら問題解決に至った時や、自立へ向け援助できた時に、この仕事のやりがいを感じます。

仕事の難しさ

担当した方の生活に介入し支援を行うため、責任の重さを感じながら業務に取り組んでいます。対象者も様々で、利用できる施策も違うため、幅広い専門知識を求められ、支援の難しさを感じますが、支援の方法に行き詰った時には、上司や先輩、同僚などに相談できる環境も整っており、チームで業務にあたることのできるのが神戸の福祉の強みでもあります。

【受験生に向けて一言】

神戸市では福祉行政に関する様々な仕事を体験する機会があり、視野も広がります。神戸市福祉職の仲間としてみなさんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

こども家庭センター

こども家庭局こども家庭センター
養育支援係

丸山 侑紀 (平成29年度採用)



- <ある日のスケジュール>
- 8:35 出勤
 - 8:45 業務開始
 - 9:00 所内会議
 - 10:00 面接
 - 11:00 関係機関との調整
 - 12:00 昼食
 - 13:00 面接
 - 15:00 家庭訪問
 - 16:00 打ち合わせ
 - 17:00 施設訪問
 - 18:30 記録作成
 - 20:00 退庁

仕事内容

こども家庭センターでは、こどもの非行・家庭内暴力・不登校・養育・発達などに対応する相談業務、児童虐待通告や通報に対応する介入業務を行っています。通所による面接や家庭訪問、学校などと連携し、複雑な問題を抱えた家庭への支援を行います。児童福祉司だけでなく、児童心理司、医師、一時保護所指導員などがチームとなって活動しています。

仕事のやりがい

相談内容の背景にある拗れた家族関係を紐解いていく作業にはかなりの時間を要し、すぐに結果は見えません。こどもの気持ちを最優先に、親子のしんどさに寄り添いながら「一緒に」解決の糸口を考えるスタンスを大切にしています。その中でこどもや保護者の表情が徐々に和らいだり、こどもの成長を感じることができた時に大きな喜びを感じます。

仕事の難しさ

こどもや家族の人生に大きく関わる仕事なので、その責任の重さに押しつぶされそうになることがあります。正解がない支援に迷うことは多々ありますが、こどもの福祉を守るため、上司や同僚に相談をしながらチームで対応します。ベテランの先輩職員からノウハウを学びながら仕事を進めることができる環境なので、日々学ぶことは多いです。

【受験生に向けて一言】

その保護者らしい子育て、そのこどもらしい生き方を親子と一緒に考える毎日、やりがいに溢れ、とても充実しています。神戸市福祉職の仲間として皆さんと仕事ができる日を楽しみにしています。

障がい児施設

東部療育センター
ひまわり学園

小園 麻奈 (平成29年度採用)



- <ある日のスケジュール>
- 8:30 出勤
 - 8:45 朝礼 全体確認
バス添乗(週に2~3回)、保育準備
 - 9:45 学園バス到着(子どもたち登園)
自由あそび
 - 11:00 設定保育
 - 12:00 子どもたちと給食
自由あそび
 - 14:15 学園バス出発(子どもたち降園)
片付け、事務処理、翌日の保育準備、会議など
 - 18:00 退庁

仕事内容

児童発達支援センター知的クラスの児童指導員として働いています。ひまわり学園は、幼児期の成長・発達において、さまざまな配慮を必要とする子どもたちが通園する施設です。子どもたちが楽しく遊んで過ごすなかで、自発的に基本的な生活習慣を身につけ、社会性を伸ばせるように支援します。また、保護者と日々、連絡ノートや電話などでやりとりを行い、家庭訪問、個別面談等を通して、保護者の方が安心して相談できるような関係づくりを心掛けています。

仕事のやりがい

一番は子どもたちの成長を真近く見て、保護者の方や同じ職場の職員と一緒に喜びをわかち合えることです。日々支援をするなかでうまくいかないこともありますが、子どもの持っている力を引き出せるように、環境を設定し直し、視覚てがかり(写真、イラスト、文字など)を使って子どもに知らせるなど工夫しています。子どもたちが抱えている課題を徐々に達成していく姿は頼もしくもあり、とても嬉しいです。

仕事の難しさ

子どもたちは得意なこと、苦手なことがあり、一人ひとり様々です。そのなかで子どもに合った支援を探し、実践していくことは難しい場面もあります。そういった時は、子どものことについてみんなで話し合い、様々な観点からその子のことを考えます。そして、子どもたちの将来を見すえ、次へとつなげ、切れ目のない支援をめざしています。

【受験生に向けて一言】

子どもの成長過程を見ることができ、この仕事にしかないやりがいを感じることもできます。皆さんと一緒に働くことができるのを楽しみにしています。